

令和5年度第4回香美市立図書館協議会 議事概要

日時 令和6年1月18日(木)
14時00分～16時00分

場所 香美市立図書館 かみーる

出席者 委員 中村直人、岡崎真紀、服部雄一郎、齋藤明彦

事務局 白川景子(教育長)、中山泰仁(教育次長)、黍原美貴子(生涯学習振興課長)、
宇根由紀(生涯学習振興課地域教育班長)、門脇真里(館長)、土居正和(主幹)、
山重壮一(統括官)

内容 (1)香美市立図書館基本的運営方針及び運営計画について
(2)その他
・委員任期及び公募委員について
・次回開催日程について

(1)香美市立図書館基本的運営方針及び運営計画について

・運営方針について

委員からの意見
<ul style="list-style-type: none">・資料費の具体的な目標や図書館の実際の使われ方について、図書館という範囲に限られていない使われ方を想定して出来ている。高知県の市町村立図書館でここまで運営方針を作っている所はない。・図書館関係者のみでなく、多くの方に知ってもらいたい。特に行政、市議会関係の方々には香美市立図書館がこういう目標に則って進んでいくというものを知っておいて欲しい。・今の図書館の在り方や、地方公共団体の中でどういう風に使われていくのか、またどういう存在なのかの方針が示されている。・香美市の行政、産業、生活などに対して、従来タイプの図書館よりもはるかに役に立ち、有効なシステムとして成り立って運営されていく図書館になると思う。

委員からの意見
<ul style="list-style-type: none">・図書館ではサードプレイスの役割を果たせるということについて、不登校の子どもたちが図書館であれば行けるような、また行った時にこの子が来ているという認識をお互い共有し合える仕組みを考えることが、その子にとっての社会参加の場になっていけばいいと思う。・教育委員会内でも、学校やふれんどる一むとの連携を図り、形にしていきたい。

委員からの意見
<ul style="list-style-type: none">・視点が俯瞰的で成熟しており、心強く感じる。・これからの図書館の在り方を見据えたものになっているように感じる。・他の図書館は運営方針をしっかりと作れていない中で、香美市立図書館が出来ているのはうれしい。・建物がきれいになり、従来のには立ち止まってしまう所だが、内容面でも先を見据えたものになっているのはうれしい。

委員からの意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・香北、物部地区の方々が同じように利用できているかということに関しては、分館をどういう風に運営していくかという基本方針や運営計画をどのように組み込んでいくか構想が必要だと思う。 ・香美市全体として、香美市立図書館としての機能を持つということをどういう風に考えるか構想が必要だ。それに関して、市の教育委員会は明確な方針を持たないといけないし、教育振興基本計画にも明確に入れたいといけない。それらを想定した上で、どちらの項目に入れるのが実質的に市民全体のためになるか考えなくてはならない。 ・どちらの分館を通じても図書館活動が十分に運営できるようなシステムにしたいし、市民が図書館を通じて、さらに高度に利用したいと思うものにするための方針を入れた方がいいのではないかな。 	

委員からの質問	事務局の回答
<ul style="list-style-type: none"> ・旧香北分館を今後どうするか課題になっているが、図書館機能を維持できるのか。 ・人口減少が進み、税収が少なくなっていくなか、分館が図書館機能を維持していくにはICTの活用が必要だと思う。香北、物部分館にICT機能を付けていくなど、市として検討する必要がある。そのような方向性が共有されているような文言を入れてはどうか。 ・格差の是正を方針に入れるのであれば、町村別の登録者数や貸出数等のデータを収集して活用してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧香北分館は建物の老朽化等で図書館としての機能維持が難しく、現在の場所への移転となっていることから、利用者にはご不便をおかけしている。 ・デジタル化や電子書籍、データベース、AIの活用についての具体的な文言を入れるかどうか検討したい。 ・町村別の登録者数や貸出数等のデータの収集を行い、活用する。

委員からの意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・今現在、住んでいる地域によって格差が生じているのは間違いない。 ・図書館利用に関する地域格差をなくす方向性を持って行くということを項目で挙げてはどうか。 ・その方法として、①電子書籍、②データベースを各図書館で使用できるようにする、③香北・物部分館が受け付けたレファレンスについて、インターネットを活用してかみーの職員と利用者が直接話ができるようにする等、今ある図書館利用に関する格差を埋めていく努力をしていくこと加えてはどうか。 ・また、行政にもこのような図書館の取り組みを伝え、ICTを導入できないか提案してはどうか。 	

委員からの質問	事務局の回答
<ul style="list-style-type: none"> ・市民が香北分館をどうするかを検討する会があると聞いている。何か話は聞いているか。 ・具体的な要望等は出てないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・香北の図書館を考える会が発足され、定期的に会が開かれており、市長に話をしに行ったことなどは聞いているが、内容は把握しておらず、市長から図書館に話も来ていない。 ・参加している市民の方々の意見がまとまっておらず、行政としても次に動けない状況と聞いている。

・運営計画について

委員からの意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・外国図書の購入については、オーテピア高知図書館が所蔵しているものを参考にしながら購入すると良い。 ・パスファインダーについては、オーテピア高知図書館のものをもらい、一部香美市で提供できるものを入れて、かみーるのパスファインダーとして利用すると良い。香美市が持っている情報だけを提供するのではなく、オーテピア高知図書館が持っているものも、かみーるを通じて利用できるというアピールにもなると思う。 ・有効登録率の引き上げについて、例えば公民館行事等を利用して、かみーるの見学ツアーをしてみてもどうか。大人の読み聞かせをしてみたり、一緒に朗読をしたり、参加者がかみーるに行ったら良かったと思えるようなものにすればどうか。 ・高知県は他県に比べて、図書館という文化が一般化されていない。 ・子どもたちが今後生きていくうえで必要な情報を自分たちでキッチリ掴んでいくことは、学校図書館だけではピンとこないだろう。公立図書館では幅広い情報を提供でき、役に立つ情報がたくさんあるということ子ども頃にインパクトを与えて、物を考える材料にしていきたい。 ・将来的に数少ない子どもたちが人生をうまくやっていくための選択をする情報を提供する場として、この図書館がある。 ・かみーる開館前に市内学校の児童に図書館利用登録を案内したように、小学生に図書館を知ってもらい取り組みは非常に大事だと思う。 	
委員からの質問	事務局の回答
<ul style="list-style-type: none"> ・学校との連携で、かみーる開館前に市内学校の児童に図書館利用登録の案内を行ったのはどうだったか。 ・学校の図書支援員や教師は上記について、積極的に推進したか。 ・各学校に図書支援員はいるか。 ・学校で図書館を有効に利用するよう勧めているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用登録は強制ではないので、希望する児童のみが登録している。 ・推進については、図書支援員や教師の意識によっては、案内が配付されただけ等、効果的でなかったこともあったのではないかと考えられる。 ・図書支援員は兼務も含めて各学校にいる。 ・図書館の利用については、今まで図書館に来なかった近隣学校の児童も増えてきているが、現在開拓中だ。 ・教材にできる図書もたくさんあるので、教師にも図書館を活用してほしい。 ・市職員については、議会図書室内におでかけ図書館を設置し、利用を促進している。
委員からの質問	事務局の回答
<p>かみーるが開館し、登録者数は一定数増えていると思うが、それでも有効登録率は低いとされているのか。</p>	<p>高知県は他県に比べてかなり低い。かみーるは県内図書館に比べると高い方だ。</p>
委員からの意見	
<p>バリアフリーフェスタの開催など、障害者の方にも図書館利用が開かれているのはうれしい。また、利用に対しても図書館職員が前向きに受け入れてくれているのが良い。</p>	
事務局からの意見	
<p>本日いただいた意見を基に運営方針及び運営計画を再作成し、委員に意見を聞きたい。また、最終的に出来上がったもので、パブリックコメントを実施する。</p>	

(2) その他

- ・委員任期及び公募委員について

委員からの質問	事務局
なし。	

- ・次回開催日程について

・次回開催日程は、5月30日(木)14時～16時予定。

連絡事項

なし
